

U-CANの知的財産管理技能検定2級
これだけ！ 一問一答集
法改正等に伴う変更のお知らせ

この度は、弊社書籍をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書の記述内容について、制度改正等に伴い、以下のような変更がございますのでお知らせいたします。

なお、発行年月日により対象となる変更箇所が異なる場合がございますので、お手元の書籍の奥付で発行年月日をご確認のうえ、変更していただきますようお願いいたします。

■「初版 第1刷（2014年9月26日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	変更前	変更後
P 30	Q47 1行目	<u>特許電子図書館（IPDL）</u> では、特許庁が保有する公開公報・特許掲載公報などを検索して見ることができるが、審査や権利の状況、審判の審決は検索できない。	<u>特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）</u> では、特許庁が保有する公開公報・特許掲載公報などを検索して見ることができるが、審査や権利の状況、審判の審決は検索できない。
P 31	A 47 1行目	<u>特許電子図書館（IPDL）</u> では、特許庁が保有する公開公報・特許掲載公報などを技術分野ごとに検索して見ることができ、審査や権利の状況、審判の審決も検索できる。	<u>特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）</u> では、特許庁が保有する公開公報・特許掲載公報などを技術分野ごとに検索して見ることができ、審査や権利の状況、審判の審決も検索できる。
P 32	実技問題 1行目	<u>特許電子図書館（IPDL）</u> で複数のキーワードを用いた特許公報の検索を行う場合、検索方法に関するア～エの記述を比較して、最も適切と考えられるものはどれか。	<u>特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）</u> で複数のキーワードを用いた特許公報の検索を行う場合、検索方法に関するア～エの記述を比較して、最も適切と考えられるものはどれか。
P 48	まとめてCHECK 3行目	出願または登録されている特許を調査するには、 <u>特許電子図書館（IPDL）</u> を利用する方法がある。	出願または登録されている特許を調査するには、 <u>特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）</u> を利用する方法がある。